

# 1. 環境学習センターの現状

## (1) 環境学習に関する情報収集・提供

### ■ 活動団体等の取材活動

活動実践者、団体等の活動現場に出向き、情報収集、実態把握、意見交換等

- ・ あいとう菜の花エコフェスタ（あいとうエコプラザ菜の花館）
- ・ TANAKAMIこどもエコクラブ水生昆虫観察会
- ・ 薬草フェスタ（伊吹薬草の里文化センター）
- ・ 玉川小学校区 夜の昆虫観察
- ・ 水の中の生き物の観察会（大津市坂本）

など 約80件／年



### ■ ブース出展

他の団体が主催する環境関連イベント等の見学、参加による  
広報活動および情報収集

- ・ ラ・フォル・ジュルネ（ピアザ淡海）
- ・ 草津市こども環境会議（草津市役所）
- ・ しがこども体験実践交流会（県庁）
- ・ 淡海の川づくりフォーラム（コラボしが21）
- ・ 滋賀県学校支援メニューフェア「しがまなび発見！」（ピアザ淡海）
- ・ びわコミ会議 マザーレイクフォーラム（コラボしが21）

など 約25件／年



## (2) 環境学習の企画サポート・コーディネート

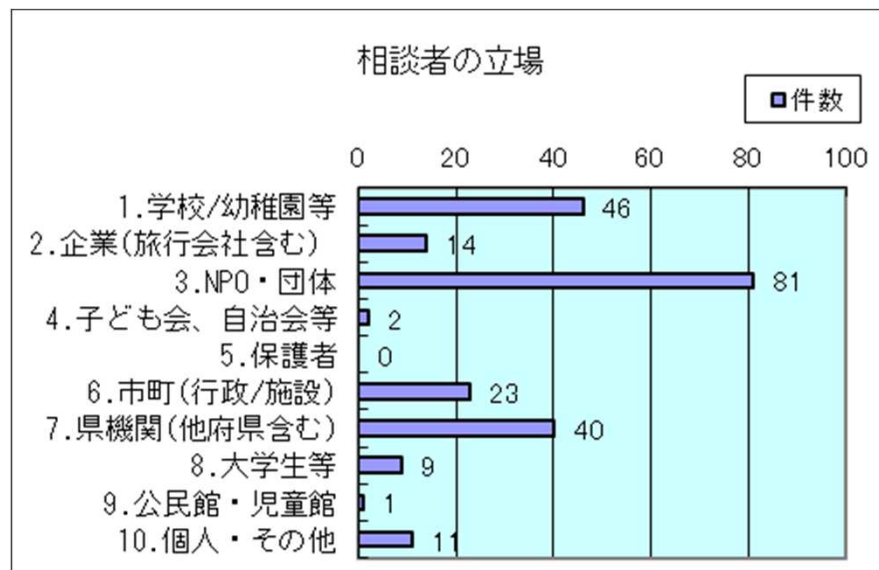
### ■ 相談対応

- 団体、企業、学校等が実施する環境学習に関する相談対応  
約250件/年

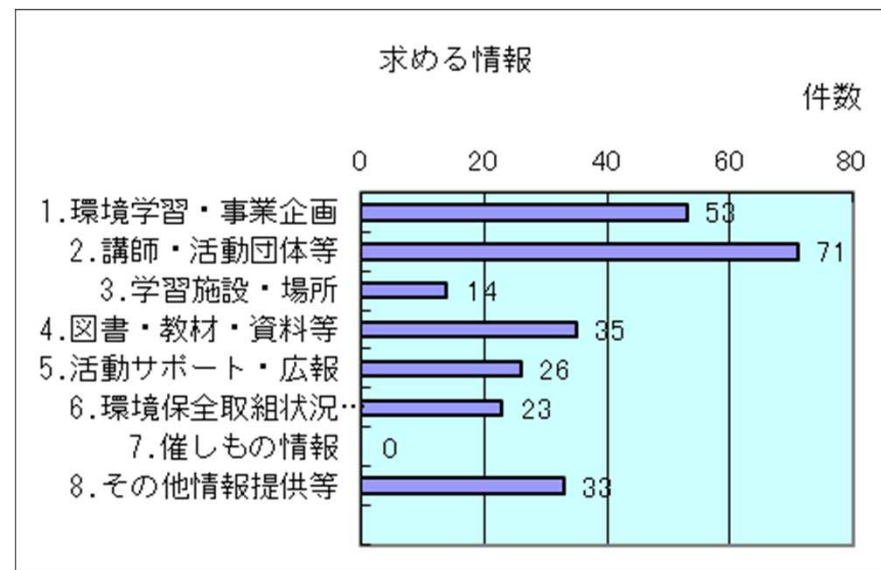


### ■ 平成26年度相談件数（4月～1月）

- 相談者別内訳



- 求める情報内容



## ■ 環境学習ポータルサイト「エコロジーが」の運営

- 環境学習推進員の取材活動などにより、プログラムやフィールドのデータを収集
- アクセス数 約200,000件/年
- 主な掲載内容 (H27.2.1現在)
 

プログラム数	154件
学べる場所	59件
教えてくれる人	323件

## ■ メールマガジン「そよかぜ」の発行

- 環境関連イベント、環境保全活動、講座、助成金情報などを掲載し、月2回発行
- 登録者 880名 (H27.2.1現在)

## ■ 教材の貸出

- 環境学習関連図書、DVD等の貸出  
約80件/年

最終更新日: 2015年02月11日 [サイトマップ](#)  
 このサイトのプライバシーポリシー [ホームページの使い方](#)  
 Google

はじめての方へ	学習プログラム	教えてくれる人たち	学べる場所	環境学習講座	図書・ビデオ類の貸し出し
	323件登録	154件登録	59件登録	454件登録	706件登録

**お知らせ**

バックナンバー

- ▶ 法川いもものがたりシンポジウム (2015.02.11) **NEW!**
- ▶ 琵琶湖上・沖島で「未来を拓く子育て・環境学習交流フォーラム」が開催されました (2015.02.05)
- ▶ 冬のイベントと学べる講座がいっぱいです。そよかぜ第168号を発行しました (2015.02.05)
- ▶ 今年も元気いっぱい遊ぼう♪そよかぜまぐれ通信1月16日号を発行しました (2015.01.16)
- ▶ 冬のイベントいっぱいです。そよかぜまぐれ通信12月19日号を発行しました (2015.01.16)
- ▶ そよかぜ第167号を発行しました

**取材記録**

バックナンバー

この人にインタビュー!

A0806 高島森林体験学校 (2014.12.06)

プログラムを体験してきました!

433. こども環境学習会 (2013.09.12)

施設へ行ってみよう!

ついでに地球市民の森 (2015.01.12)

**滋賀県へのとりくみ**

- ▶ 滋賀県の環境学習関連事業
- ▶ 幼児自然体験型環境学習
- ▶ こどもエコクラブ
- ▶ エコ・スクール
- ▶ 学校のとりくみ
- ▶ 滋賀の新エネルギー
- ▶ グリーン購入

**滋賀県の実験データ**

- ▶ 琵琶湖と環境
- ▶ 滋賀の環境(環境白書)
- ▶ 一目でわかるびわ湖
- ▶ 琵琶湖・内湖の生態系
- ▶ 滋賀の天気
- ▶ 琵琶湖の水質
- ▶ プランクトン情報
- ▶ 湖と人間(琵琶湖博物館)

### (3) 環境学習を支えるネットワークづくり

#### ■ 環境ほっとカフェ

交流の場づくり、環境学習の実施、普及啓発

- ・「ちっちゃなこどもの自然あそび」
- ・「ヒノキでアロマ ～香りで感じる いきものつながり～」
- ・「近江の歴史と食を巡る旅」  
など 約10回/年



#### 近江の歴史と食を巡る旅

「地産地消」という言葉が広まって久しい中、食や歴史の面から、各地域でそれらの魅力を再発見することが多くなっています。近江の国「滋賀県」でも「おいしがうれしが」をキャッチコピーに、滋賀の食文化を発信しています。その一冊を歴史と食の観点から巡ることを目的に、このプログラムを立ち上げました。

「近江の歴史と食を巡る旅」では、2か所を巡ります。まずは「美ごろうえもん」にて、滋賀県の郷土料理を食しながら、郷土料理やそれに使われる食材などについて講演を聞きます。次に、「蔵元 藤原本家」では、酒造りの歴史や食と酒のつながりなどについて講演を聞き、その後、酒蔵を見学します。

地域と食文化のつながりを再認識し、食への理解とその感謝が育まれることを願うこのプログラムは、地域理解や食育の一環として相応しいでしょう。

- 日時：2014年11月30日(日) 11:00~16:00
- 集合：11:00(受付 10:30から) JR 能登川駅 西口
- 解散：16:00 JR 能登川駅 西口  
(※当日のプログラムの進行具合により、前後することがあります)
- 体験場所：①美ごろうえもんにて、滋賀県の伝統料理や食材などについての講演を実施  
②藤原本家 酒蔵にて、「酒造りについての講演」、「酒蔵見学」を実施
- 定員・対象：滋賀県内に在住、在学、在勤する20歳以上の方  
定員は、15名程度  
(※申込の多数の場合は、抽選となります。)
- 参加費：2,500円(昼食代、保険料含む)
- 申し込み方法：裏面の項目を電話、FAX、電子メールにて、「琵琶湖博物館 環境学習センター」までお知らせください。  
申込み締め切り 11月23日(日)(※受付後、当方よりご連絡致します。)
- その他  
※お酒の試飲をする機会もありますので、必ず、電車、バスで来てください。
- ◆お申し込み、お問い合わせ◆ 琵琶湖博物館 環境学習センター  
【TEL】077-568-4818 【FAX】077-568-4850  
【E-MAIL】ecolo@pref.shiga.lg.jp

主催：琵琶湖博物館 環境学習センター  
協力：蔵元 藤原本家、美ごろうえもん



#### 環境ほっとカフェ

### ヒノキでアロマ

～香りで感じる いきものつながり～

花

のほいそかくと異い風合になつたり、高野野でリラックスしたり、植物にはいろんな力があり、近頃はあちこちでアロマを愛用することからよくよ。でも植物の香り(精油)そのものはどのように生まれるのか、しとの植物とどんな香かたをしていたか、あなたなどのくらしを思いよか?

イベントではヒノキの葉から精油を抽出する過程を実験に体験し、またこれを使ったバスボム作りがてるよ。さらに、世界でたったひとつ、あなただけの香りの精油を調製します。これを香して、植物の香りの実みと私たちの暮らし、そしていきものつながりを感じてみるよ。

琵琶湖博物館に来たことがない人、アロマに興味があるけれどよくわからないという人、大歓迎！あなたのご参加を心からお待ちしておりますよ。

※当日のプログラムは、お天候により変更される場合があります。

あなただけの香水作りに挑戦！  
おうちでできるアロマ作り  
ヒノキの蒸留と精油抽出体験  
お風呂の準備をきって  
ヒノキのバスボム(入浴剤)作り  
みんなで作るアロマ作り  
ヒノキのルームスプレーのお土産作り

2014年  
9月28日(日)  
午後1:30~4:00

場所：琵琶湖博物館 生活実験工房  
(琵琶湖博物館 生活実験工房 1001)

対象：小学5年生以上~大人  
定員：12名(申込み必す9/21)  
※申込み多数の場合は抽選となります

材料費：1,000円  
※材料ミュージアムショップにて各自材料を販売します

琵琶湖博物館 環境学習センター  
お申し込みは「環境学習センター」までお問い合わせ

●日にち：26  
●対象：2歳以上  
●申し込み：事前  
メールで eco@ecolo.jp  
●料金：2000円  
●申し込み締め切り：9/21  
●お問い合わせ：077-568-4818

## ■ こどもエコクラブ活動交流会

- 各クラブの交流
- 県内で活動するこどもエコクラブの活動内容の発表
- 協賛 公益財団法人平和堂財団
- H26年度 参加者  
13クラブ、161名
- 登録クラブ数 143クラブ  
(H27.1.31現在)



## ■ 博物館夏祭り

- 県内博物館と共催により実施

## 2. 環境学習センターの課題

### ◇ 課題および対応

#### ■ 発信情報の充実・強化

- 県内企業の環境学習情報の提供
- 博物館を利用した環境学習プランの提供
- 幅広い環境学習 実践者の情報発信
- エコロシーが登録情報の定期的な更新

#### ■ 関係機関等との連携強化

- 関係機関等と連携した事業の実施
- ネットワークの強化
  - ・ 環境学習の実践者同士のつながり

#### ■ 環境学習センターの認知度

- 多様な層へのアプローチ
  - ・ 環境学習実践者
  - ・ 県内の大学
  - ・ 琵琶湖博物館来館者

### ◇ 方向性

- 環境学習実践者等が求める支援への対応
  - ・ 環境学習実践者、団体、企業等のニーズを把握し、支援していく。
- 琵琶湖博物館のリニューアルとも併せた環境学習センター機能の強化
  - ・ リニューアルに伴う交流空間・プログラムの充実等により、環境学習の広がりを図る。
- 環境学習実践者の相互交流活性化
  - ・ 「環境学習実践者交流会」を定期的を開催する。

### 3. 琵琶湖博物館リニューアルと環境学習センター

琵琶湖博物館は2016年に開館20周年を迎えることから、展示・交流施設等全面リニューアルを進めている。

◇環境学習センターのリニューアルの方向性(「新琵琶湖博物館創造基本計画」から)

環境への関心と問題解決能力を高め、主体的に実践・行動できる「人育て・人育ち」において中核的な役割を担い、その先の持続可能な社会づくりを進めるため、環境学習の拠点機能を強化し、多様な主体間の協働・連携を推進します。

- ① 一人ひとりの暮らしを見つめ直す活動の支援
- ② 実践行動を支え、広げ、高める人材（リーダー）育成
- ③ 世代を超えて地域から学びあうプログラム開発
- ④ 学びをつなぎ、学校と地域をつなぐコーディネート機能
- ⑤ 多様な主体とのネットワークの形成
- ⑥ I L E C（国際湖沼環境委員会）と連携した環境学習の国際的展開